

YAMAHA

SDS

SOUND DEVICE SERIES

DIGITAL DELAY DD-100

YAMAHA
ヤマハ株式会社

LM事業本部
ギター・ドラム事業部
〒430 浜松市中区町10-1
TEL.0534(60)2431

取扱説明書

PSQFK20061
F0488P0

SDS

SOUND DEVICE SERIES

ヤマハ・サウンド・デバイス・シリーズは、単体としての性能を高めるだけでなく、マッチング、操作性、可搬性など、複数のユニットを組み合わせる際の問題点をすべて解決することを目標に開発されたエフェクトユニットです。

複数のユニットを組み合わせるためには、単体としての完璧な性能が要求され、不完全なユニットの存在を許すことはできません。ヤマハはエフェクターを多用する今日のミュージシャンのニーズに 대응するために、特にこれらの点を重視して、このサウンド・デバイス・シリーズを開発いたしました。

1. DIGITAL DELAY

デジタル・ディレイ

ディレイは、原音を遅延させた信号を原音に加え、奥行き感や広がり感を出すエフェクターです。本機はデジタル方式のエフェクターで入力されたアナログ信号を12bitのデジタル信号に変換したうえで一旦256Kbitのメモリーに記録し、それを古い順にメモリーから読み出すことによりディレイ信号を作り出します。図1は、ディレイモードの際の原音とディレイ音の関係を示したものです。MODE切替つまみのS、M、Lの選択とDELAY TIMEつまみの設定により、ディレイ音の遅延時間を22ms～1400msの範囲で設定できます。また、FEED BACKつまみによりディレイ音の発生の回数、DELAY LEVELつまみによりディレイ音のレベルを設定することができます。

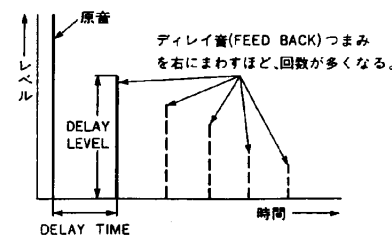


図1

2. Connection

接続の方法

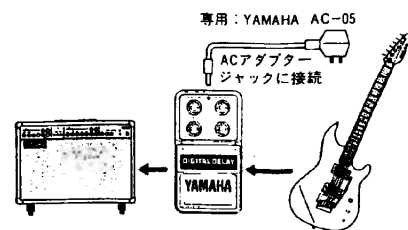
- 付属の乾電池をセットするか(“電池交換”の項を参照)、または専用のACアダプター(YAMAHA AC-05)を接続してください。
- IN◀ジャックに、楽器を接続してください。
- 本機の◀OUTジャックから、アンプまたは次のエフェクターのIN◀ジャックに接続してください。
◀OUTジャックにプラグを差し込むと自動的に電源が入ります。
- フットスイッチを踏むと、効果をON/OFFできます。効果がONの状態ではインジケーターが点灯します。
- 右の図は、他のエフェクターも使用する場合の、効果的な接続順序の例です。2個以上のエフェクターを組み合わせる場合の参考にしてください。

【注意】●本機の入力端子は、EIAJ規格RC-6701Aに適合しています。

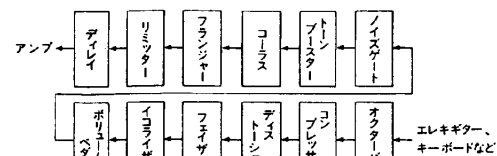
規格外のプラグを使用した場合、正常に動作しないことがありますのでご注意ください。

●本機を使用しないときは、◀OUTジャックからプラグを抜いておくよう心がけてください。
プラグを差した状態は電源ONの状態のため、電池が早くなくなります。

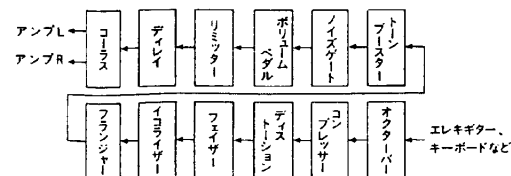
●本機はデジタル方式のエフェクターのため、乾電池で使用した場合、電池寿命は連続使用で60分程度です。演奏時の電池切れによるトラブルを避けるため、専用のACアダプター(YAMAHA AC-05)をお買い求めになり、AC電源で使用されることをお勧めします。



例1) 一般的な接続



例2) ステレオコーラス効果が得られる接続



3. Function

各部の機能



- DELAY TIME** つまみ
SML各レンジの範囲内でディレイタイムを設定できます。
- エフェクトインジケータ**
効果のON/OFFや電池の有無を確認することができます。ONの状態が点灯、OFFの状態が消灯します。暗くなったり、点灯しなくなった場合は、新しい電池と交換してください。
- DELAY LEVEL** つまみ
効果をONにした際の出力の状態を設定するためのつまみで、原音に対するディレイ音のレベルを設定することができます。左いっぱいに戻した状態では原音のみ出力され、右に回すほどディレイ音のレベルが原音のレベルに近づきます。
- FEED BACK** つまみ
ディレイ音の繰り返し回数を決めるためのつまみです。左いっぱいに戻した状態ではディレイ音が1回発生し、右に回すほど繰り返し回数が増えます。
- MODE** 切替つまみ
モードを切り換えるためのつまみで、切替えにより次のようになります。
- S: ショートディレイモードのポジションでディレイタイムを22ms~88msの範囲で設定できます。
- M: ミドルディレイモードのポジションでディレイタイムを88ms~350msの範囲で設定できます。
- L: ロングディレイモードのポジションでディレイタイムを350ms~1400msの範囲で設定できます。
- フットスイッチ**
効果のON/OFFを足もとで行なうためのスイッチです。

5. Caution

ご注意

- 電池を長持ちさせるため、使用しないときは必ず出力側(◀OUT)ジャックからプラグを抜いてください。
- 出力側ジャックにプラグを差し込んでフットスイッチを踏んでも、エフェクトインジケータが暗い場合や点灯しない場合は、電池が消耗していますので、新しい電池と交換してください。
- 電池の液もれによる故障を防ぐため、長時間使用しない場合は、電池を取り出して保管しておいてください。
- ACアダプターは、専用のYAMAHA AC-05をご使用ください。他のACアダプターを使用された場合、故障の原因となることがあります。
- ギターアンプなどの電源を入れたままでエフェクターのプラグを抜き差ししないでください。ギターアンプなどの故障の原因となります。
- この取扱説明書をお読みになった後は、大切に保管してください。

7. After Service

アフターサービス

1. アフターサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買上げ店にご持参頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂く場合もあります。また、お買上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ店あるいは電音サービス拠点にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

2. 保証期間

ヤマハSDSシリーズ製品の保証は、ご購入日(保証書による)より満6ヶ月(現金・クレジット・月賦等による区別はございません。また保証は国内のみ有効)と致します。

3. 保証期間後のサービス

満6ヶ月の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引続き責任をもってサービスをさせていただきます。そのほかご不明の点などございましたらヤマハサービス網までお問い合わせください。

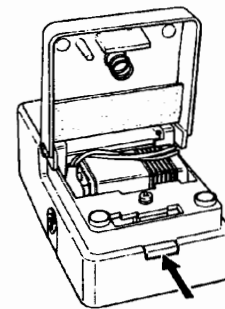
4. Battery Change

電池交換

エフェクトインジケータが暗くなったり、点灯しなくなった場合は新しい電池と交換してください。電池を交換してから点灯しなくなるまでの時間(電池寿命)は、温度、電池の種類、使用状態などによって異なります。

使用電池: 9V乾電池6F22(S-006P)

※電池を長時間使用しない場合には、液もれによる故障を防ぐため取り出しておいてください。



- エフェクトフットスイッチ手前のオープンボタンを押すとベダル部が開きます。
- 古い電池を取り外し、同じ規格の新しい電池[6F22(S-006P)]をセットします。
- ベダル部を「カチッ」とロックされるまで押して閉じます。
このとき、電池コードをベダル部にはさまないように注意してください。

6. Specifications

仕様

- 方式 : アナログ対数圧縮12bit量子化
- 入力インピーダンス : 1MΩ
- 出力インピーダンス : 2kΩ以下
- 最大入力レベル : +4dB、0dB=775mV
- ノイズレベル : IHF-A、-90dB、入力換算、0dB=775mV、入力ショート、FEED BACK at max
- 周波数特性 : 20Hz~100kHz ±0.5dB (エフェクトオフ時)
- 全高調波歪率 : 0.5%(1kHz、-10dB)
- ディレイタイム : Short 22ms~88ms Middle 88ms~350ms Long 350ms~1400ms
- ファンクション : DELAY TIME、DELAY LEVEL、MODE(S、M、L)、FEED BACK
- 端子 : INPUT、OUTPUT
- 消費電流 : 50mA(DC9V)
- 電池寿命 : 連続使用約1時間 (ネオハイトップ)
- 電源 : 9V乾電池6F22(S-006P)、ACアダプター(AC-05)
- 寸法 : 70mm(W)×61mm(H)×126mm(D)
- 重量 : 430g (電池含む)
- 付属品 : 9V乾電池6F22(S-006P)×1

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

YAMAHA電音音響製品サービス拠点

(お預り修理窓口)

- 東京電音サービスセンター 〒211 川崎市中原区木月1184 TEL(044)434-3100
 新潟電音サービスステーション 〒950 新潟市万代1-4-8(シルバークールビル2F) TEL(025)243-4321
 大阪電音サービスセンター 〒565 吹田市新豊里1-16(千里丘センター内) TEL(06)877-5262
 四国電音サービスステーション 〒760 高松市丸亀町8-7(ヤマハ高松店内) TEL(0878)51-7777、22-3045
 名古屋電音サービスセンター 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2(ヤマハ名古屋流通センター3F) TEL(052)652-2230
 九州電音サービスセンター 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2134
 北海道電音サービスセンター 〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地 TEL(011)781-3621
 仙台電音サービスセンター 〒983 仙台市卸町5丁目-7(卸商共同配送センター3F) TEL(022)236-0249
 広島電音サービスセンター 〒731-01 広島市安佐南区紙園町西原2-27-39 TEL(082)874-3787
 浜松電音サービスセンター 〒435 浜松市上西町911 TEL(053)65-6711
 本社
 電音サービス部 〒435 浜松市上西町911 TEL(0534)65-5195

※住所及び電話番号は変更になる場合があります。